

私達は、新宮山彦ぐるーぷの方々と行仙岳にて課外研修を行わせていただきました。登山後に使用する自分の荷物や食料などを背負い登山しました。登山してみても、登山距離はそんなに距離はありませんが、尾根道で道が険しく大変で改めて自分の体力の無さを痛感しました。

登山後は、山の上では、大切な水を水場まで汲みに行きました。水場までの道は、とても細く険しく大変でした。私達が行った時は、晴れ続きだったので溜まり水だけでしたので、水を汲むのも落ち葉や水に浮いたゴミが入らないように汲むのに注意してしました。水を汲んでから山小屋へ登山している途中に、ガンバレ！ガンバレ！水は命なりと言う看板が目に入りました。この課外研修を通して普段、何げなく使用している水が本当に水は命のように大切だと思いました。

その後は、階段補修や薪割り・木杭造りをしました。薪割り・木杭造りでは新宮山彦ぐるーぷの方々がしているのを見ていて簡単そうに見えましたが、実際してみると思ったようにはいかずとても難しかったです。

課外研修を通して、辛いこともありましたが登山した時、疲れを忘れてとても達成感が得られました。普段できないような経験ばかりでも貴重な経験をさせていただきました。

新宮山彦ぐるーぷの皆様、この度は大変貴重な経験をさせていただき、この様な機会を作ってくださいありがとうございます。この課外研修で得た物をこれからの生活に活かしていきたいと思えます。色々迷惑をお掛けしましたが、本当にありがとうございました。

体験研修、お疲れ様でした。水事業の一端を担うメーカーの一員として良い経験となったと思います。素直な思いが伝わってきて企画した者として喜ばしく感じました。

仕事で苦しい時もあるだろうけど大峯の山々の景色を思い出して心に涼風を吹き込むようにしてください。

三井

研修お疲れ様でした。この研修を通じて一つでも仕事に生かしてください。仕事をすることも大切ですが、『時は金なり』というように、時間を計算しながら働く事により成長できると思います。

齊藤

社外体験研修

(株)齊藤鐵工所 澄田 将一

初めの頃は登山に行くのは別に嫌と言うわけではありませんでしたが、雨が降って肌寒かったのと山登りがとてもきつく正直つらかったです。

一日目 5月29日は工場二社を回りました。

そのいった工場の中でも一番きつく危ないと思ったのが鋳物工場でした。残念ながら鋳物を溶かしているところは見る事ができませんでしたが、その準備などもとてもハードで砂まみれで大変そうでした。一日目はその工場見学の後に宿泊先に行きご飯を食べてから雑談をして11時ごろに寝ました。

二日目 5時に起きて約4時間で集合の下北山スポーツセンターに着きました。

その後、登山口まで行き、10kgの荷物もとい缶ビールを背負い40分以上かけて行仙宿に着きました。岡本係長の荷物が一番重そうで少しつらそうでしたが全員けがすることなく無事に小屋に着くことができました。小屋に着き、25分ほど休むと次は20分かけて水汲みに行くことになりました。

上りも下りもとても急できつかったです。特に帰りの上りは最後になるとロープも木に手をかける所がなくなるのでとてもきつかったです。水汲みに行つて帰つて少し休むと次は山の段差を補修に行きました。

ハンマーなどがとても重くてびっくりしましたが、なんとか打ち込むことができました。その帰りにぼくらが背負っていた背負子から一斗缶が落ちてしまいました。それを一人でくくりつける作業をして終わって前を見上げると誰も居ませんでした。さすがに晴れていても、ほとんど道のない山の中で一人は少しさみしかったです。その時に写

真をとって少し楽しんでいました。すぐに追いつくことができました。

その前に水汲みから帰ってくると山彦ぐるーぶの人ではない人が登山で4日かけてここに来たという東京の人が来て、その人たちと結局一緒に仕事をして一緒にご飯を食べて寝ていました。

三日目 五時起床。前日に皮を剥いた木の中でも小ぶりの丸太をロープにひっかけて小屋近くまで移動させる仕事をしました。

十時ころには下山し、ふもとにある『きなりの湯』で3日間の研修を終える事が出来ました。この3日間は長いようでも短く感じました。登山と山仕事は、きつい時もありましたが、とても勉強になりました。

新宮山彦ぐるーぶの皆様、有難うございました。

工場見学から始まり山仕事の体験までの3日間、お疲れ様でした。山仕事でもひとつ間違うと危険な事があります。

工場現場では、更に危険箇所が多くなります。間もなく配属が決まります。今回の体験のように、配属先でも先輩や上司の指示や注意をよく守り確実な仕事をしてください。

三井

ご苦労様でした。新入社員研修で色んな経験をしたことと思います。今月には配属先も決まります。与えられた仕事をきっちりこなせるように、頑張ってください。期待しています。

齊藤